

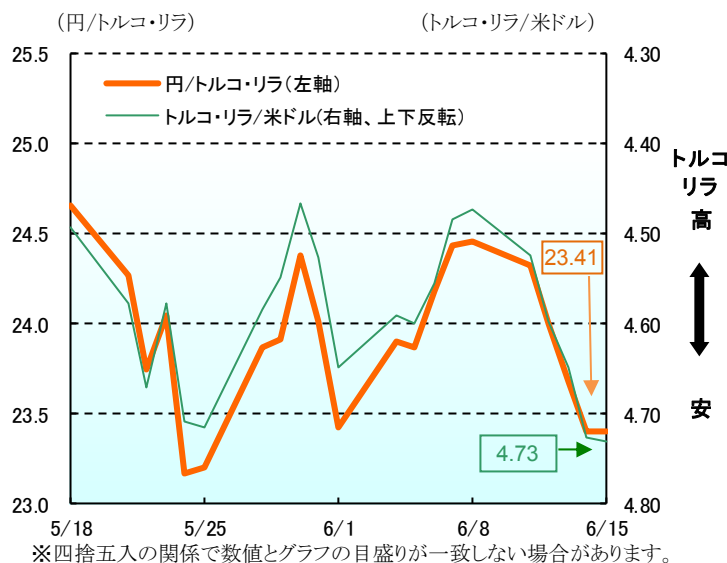
【2018年6月9日～2018年6月15日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル、対円ともに下落しました。またトルコの2年国債金利は上昇しました。

市場では中央銀行による一連の利上げを経て、材料に欠く展開となりました。前週までの大幅利上げを受けてもトルコ・リラの買い戻し幅は限定的となり、利上げ効果が一旦はく落し、トルコ・リラは下落しました。発表された4月の経常収支は市場予想以上の赤字幅となりました。一方、4月の鉱工業生産と1-3月期のGDP(国内総生産)は市場予想を上回りました。国債金利はインフレ懸念を背景に小幅上昇しました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2018年5月18日～2018年6月15日)

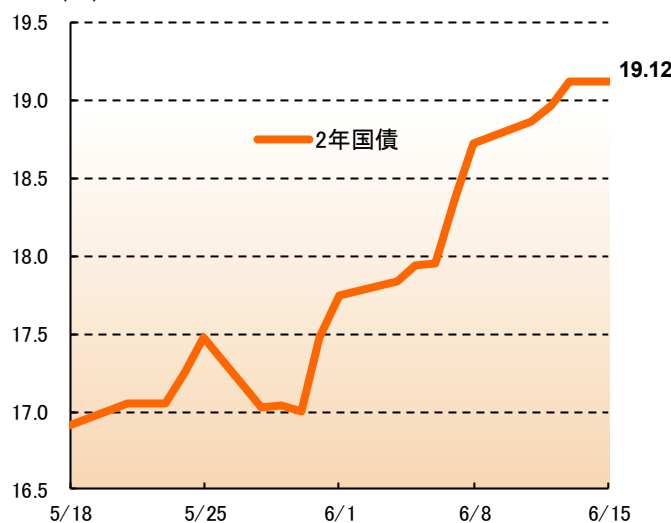


【2】今週の見通し

今週は、経済指標では3月の失業率などが発表されます。市場は、24日(現地)の大統領選挙と議会選挙に注目しています。

足元の世論調査ではエルドアン大統領および与党連合の優勢が伝えられてはいるものの、依然として不透明な状況です。市場ではエルドアン大統領が優勢と報道されると、中央銀行の政策に介入するとの思惑から嫌気され、トルコ・リラが売られる傾向があります。また、大統領と議会で与野党が異なるねじれ状態となれば、政策運営が滞り、混乱する可能性があります。大統領と議会ともに野党候補が勝利すれば、ポジティブサプライズとなり、相場が反発する可能性があります。いずれにせよ、選挙後の政策運営の行方が重要になると考えます。

【トルコ 金利推移】 (2018年5月18日～2018年6月15日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>